

# 再生可能エネルギーの電源開発に取り組む株式会社 IQg、 欧州 Second Foundation 社と資本業務提携

～日本国内で 2 ギガワット以上の系統用蓄電所に投資～



(左より Second Foundation 創業オーナー-Vojtěch Kačena (ボチェック) 氏、IQg 代表取締役 水田昌紀氏)

株式会社 IQg (東京都千代田区、代表取締役：水田昌紀、以下：IQg [読み：アイキュージー]) は、Second Foundation a.s. (チェコ共和国プラハ、創業者：Vojtěch Kačena、Jaromír Šatánek、Petr Poštulka、以下：Second Foundation [読み：セカンドファンデーション]) と、再生可能エネルギー事業の成長を目的に資本業務提携契約を締結いたしました。これにより IQg は Second Foundation から約 450 百万円の出資を受け、7 月 2 日に増資が完了しました。そして、両社の合併会社として、日本オブノ合同会社 (以下、日本オブノ) を設立し、蓄電所や太陽光発電所をはじめとする再生可能エネルギーの電源開発に取り組みます。

【株式会社 IQg ホームページ】 <https://iqg.jp/>

## 再生可能エネルギー業界のトータルソリューションプロバイダーへ

IQg は「無駄な CO2 の低減」を目的とし、再生可能エネルギーの電源開発や電力卸売・小売事業、太陽光発電所のメンテナンス事業などを手掛けています。他社に先駆けて、オンサイト PPA やオフサイト PPA、系統用蓄電所の事業を進めてきました。

Second Foundation は、再生可能エネルギーの電源管理とアルゴリズム取引において世界をリードする企業です。チェコで設立されたこの会社は、その多くが数学オリンピックに出場した経験のある数学者とプログラマーから構成されており、独自開発のアルゴリズムとプログラミング技術によって、創業からわずか 5 年で、ドイツをはじめとする欧州の電力スポット市場におけるトレーディングのリーディングカンパニーになりました。また、同社は 2.3 ギガワット以上の再生可能エネルギーの電源をアグリゲーター (特定卸供給事業者) ※1 として管理しています。さらにドイツ国内で 2 ギガワット以上の系統用蓄電所を開発する企業を買収し、アセットへの投資を積極的に進めています。 ※1：電力を束ね、効率的かつ安定的に電力を供給する事業者のこと

日本では 2023 年 5 月に 100%出資の子会社を設立し、アグリゲーターとして現在 500 メガワット以上 (太陽光、風力発電所) の契約実績があります。

IQg と Second Foundation はこれまでにアグリゲーターとしての案件獲得や非 FIT の太陽光案件開発などの取り組みを共同で実施してきました。そしてこの度、日本における再生可能エネルギー事業のさらなる成長を目指し、資本業務提携契約を締結いたしました。

この提携によって IQg はワンストップで「再生可能エネルギー事業のトータルソリューション」の提案が可能となります。具体的には、従来手掛けてきた電源開発や発電所の O&M（オペレーション & メンテナンス）と電力小売、物販事業に加えて、アグリゲーション<sup>※2</sup> のサービスまでをトータルでサポートできる強みを活かすことによって、お客様の多種多様な潜在的ニーズを掘り起こし幅広い提案を行います。 ※2：電力を束ね、効率的かつ安定的に電力を供給すること

Second Foundation のような電力市場におけるトレーディングを起点とした再生可能エネルギーのアグリゲーターは少なく、その知見を活かした系統用蓄電所の事業者様向けのオペレーションサービスも提供していきます。

今後これらの優位性を活かし、事業を発展させてまいります。

今回の資本業務提携と同時に両社は合併会社である日本オブノ合同会社<sup>※3</sup> を設立しました。同社は、蓄電所や太陽光発電所をはじめとする再生可能エネルギーの電源開発を行うことを目的としています。Second Foundation はこれらの電源の開発資金として 10 百万ユーロ（為替換算 170 円で 17 億円）以上を投資することを計画しています。この開発資金で 2 ギガワットの系統用蓄電所の建設を目指しています。 ※3：オブノはチェコ語“obnovitelna energie”（再生エネルギー）が由来

## 両社よりコメント

### ■ Second Foundation COO 兼 IQg 取締役 ミハイルスカルフスキー氏

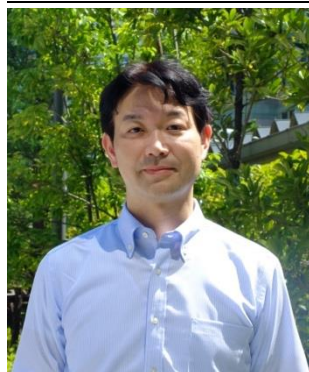
（経歴：2003-2020 マッキンゼー・アンド・カンパニー（パートナー））



「この度 IQG 社と提携し、急速に発展する日本の電力市場において再生可能エネルギー電源の活用と市場での電力トレーディングによって、市場をリードする企業に近づくことをうれしく思います。IQG 社は、太陽光発電所や系統用蓄電所の開発で定評があり、アグリゲーション分野では 2024 年 1 月より当社の総代理店として活動しています。彼らの活動に、当社からの資金と最先端の分析・技術プラットフォームを提供することにより、我々は再生可能エネルギーのアセットや系統用蓄電所システムへの様々な投資家に対し、広範で高品質なサービスを提供してまいります。」

### ■ 株式会社 IQg 代表取締役 水田 昌紀（みづた まさき）

（経歴：2000-2009 株式会社マクニカ 2011-2016 インリー・グリーンエナジージャパン株式会社 代表取締役）



「Second Foundation 社との資本業務提携がスタートし、身が引き締まる思いで一杯です。私自身、再生可能エネルギー業界に身を投じて約 13 年になります。2012 年に始まった産業用太陽光メガソーラーの全量買取制度を経て、非 FIT や系統用蓄電所が急速に広がる新たなステージがやってきました。この新しいステージでは、Second Foundation 社が提供するアグリゲーションや電力トレーディングの力が必須であると確信しています。彼らのスピード・能力に負けぬよう案件開発をはじめとする事業に邁進してまいります。」

## Second Foundation について

Second Foundation は、2019 年にチェコ共和国で設立され、急成長を遂げているテクノロジーカンパニーです。優秀な数学者（その多くは数学オリンピック出場経験者です）やアナリスト、開発者を擁し、再生可能エネルギー発電所からの出力の最適化を実現、電力網のバランスをサポートするためのスポット市場での電力取引・系統用蓄電所のオペレーションを行う世界的なリーディングカンパニーです。スイス、ドイツ、アメリカ、日本に拠点を持ち、グローバルに事業を展開しています。

会社ホームページ : <https://www.second-foundation.eu/>



Second Foundation

## 株式会社 IQg について

環境と経済を両立させた持続可能なエネルギーサービスを生み出すエキスパート集団。技術的知見と案件開発力を活かした再生可能エネルギーや節電技術の普及への取り組みを通じて、ミッションである「無駄な CO2 の低減」を目指しています。インリー・グリーンエナジー社（中国の太陽光モジュール製造メーカー）の日本代表であった水田昌紀氏が 2016 年に設立しました。



### 【会社概要】

社名 : 株式会社 IQg  
所在地 : 東京都千代田区二番町 3-11 VORT 二番町 5 階（2024.11 オフィス移転予定）  
代表取締役 : 水田昌紀  
設立 : 2016 年 7 月  
事業内容 :

#### 【1】電力コンサルティング事業（欧州セカンドファンデーション社との提携によるソリューションのご提案）

- (1) 再エネ電源のアグリゲーション（FIT、オフサイト PPA、vPPA）、系統用蓄電所のオペレーションに関するご提案
- (2) DR（デマンドレスポンス）のご提案
- (3) 需要家様の敷地内に設置した蓄電池を最大限活用した電力取引に関するご提案

#### 【2】電源開発事業

再生エネルギー電源（オンサイト PPA/オフサイト PPA/vPPA）および系統用蓄電所の案件開発と保有

#### 【3】メンテナンス事業

- (1) 太陽光発電所（特高・高圧・低圧発電所）向けメンテナンス
- (2) 系統用蓄電所のメンテナンス

#### 【4】物販事業

- (1) PET 樹脂特殊防草シート（（株）蝶理製）の総代理店
- (2) レドックスフローバッテリー（RFB）の筐体販売、メンテナンス
- (3) Hoymies 社製 マイクロインバーター
- (4) 節電商材 Coolnomix の販売・レンタル

事業会社ホームページ : <https://iqg.jp/>

お問い合わせ : <https://iqg.jp/contact/>

電話番号 : 03-6261-5311